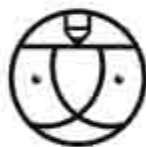


町田文学散歩マップ (鶴川篇)



鶴川・小野路・野津田周辺



ごあいさつ

町田市民文学館ことばらんどでは2007年4月から市民が主体となって「町田の文学」を研究する市民研究員制度を立ち上げ、この度、その成果として「町田文学散歩マップ」(鶴川篇)を研究員の皆様と共に作成いたしました。このマップを手に鶴川の文学史跡を巡ってみては、いかがでしょうか？

ご注意

○右記の地図は簡略化し主要道路及び主要交差点のみを表示掲載しています。

2008年3月31日初版発行
町田市民文学館ことばらんど

市民研究員おすすめ文学散歩コース！

A. 鶴川周辺コース (所要時間: 約2時間)

井上友一郎旧宅跡→西村不動尊→「七畳小屋」跡→武相荘→「竹の子句会」会場→善山園→あとりえ・ラー鶴川駅→神近市子旧宅跡
※「井上友一郎旧宅跡」へは「神京中バス」で「鶴川駅」4番のり場から鶴21系統で「鶴川台中央」下車 徒歩約3分

B. 小野路・野津田周辺コース (所要時間: 約4時間)

小島資料館→小野神社→一里塚→(明神坂)→ぼたん園(石坂邸墓所、酒谷・ミナ出会いの調)→野津田神社→自由民権資料館→「春竹学苑」跡→慶性寺→鶴川駅
※「小島資料館」へは「神京中バス」で「鶴川駅」5番のり場から 鶴22系統で「中塚」下車 徒歩約3分

C. 三輪周辺コース (所要時間: 約2時間)

妙福寺→福山神社→高蔵寺→鶴川駅
※「妙福寺」へは「神京中バス」で「鶴川駅」4番のり場から 鶴01系統で「妙福寺前」下車 徒歩約1分

三輪周辺



A－1 井上友一郎が疎開した旧宅跡(真光寺 1-23-1)

井上友一郎(1909-1997)は大阪に生れ、上京。戦後、風俗小説の妙手として活躍した。1945年(昭和20)6月、真光寺の榎本紋平宅に疎開。9月に世田谷の自宅に戻るまでの3ヶ月を過ごした。戦後に執筆された「小説家」には「鶴川の駅からおよそ一里も北へ歩く田圃沿ひの地点だから、先づ空襲には絶対安全である。(中略)ここから、毎日、一里の道を歩き、小田急、「井上友一郎」省線(現・JR)を利用して、京橋の石炭統制会まで通勤した。」と往時の苦勞が記されている。

※「鶴川駅」4番のり場から鶴26系統で「鶴川台中央」下車 徒歩約3分

A－2 柳田国男が訪ねた「広袴不動尊」(広袴 2-14-23)

柳田国男(1875-1962)が広袴にやってきたのは1943年(昭和18)11月。「神奈川県との境になって居る広袴といふ村は、何か古い事の探したさせさうな村だがー」(「民間伝承」)。柳田は白足袋に袴姿で戦時下の村を歩いた。妙全院(曹洞宗)、広袴不動尊では縁起などを聞き、養蚕の「糸引き観音」にも関心を寄せた。この時期、柳田は町田に興味を持ち、成瀬・本町田・三輪にも足を運んだ。

※「鶴川駅」4番のり場から鶴26系統で「広袴中央」下車 徒歩約3分

A－3、A－5 石川桂郎「七畳小屋」跡と「竹の子句会」会場(能ヶ谷 1426、1181)

俳人・石川桂郎(1909-1975)は、東京三田生れ。戦後、河上徹太郎の世話で鶴川村能ヶ谷に転居、以後終生の住居とした。石田波郷に師事し、1960年(昭和35)町田で創刊された俳誌「風土」の編集担当、続いて主宰。俳人協会賞、蛇笏賞を受賞し、俳句文学館設立にも尽力した。現在「風土」の活動は、全国に及び、特に小田急沿線には多くの支部が置かれている。本宅の近くに仕事部屋として借りていた七畳小屋で、1964年(昭和39)「風土」再発足の年、竹の子句会を開催。周囲は竹林で、晩春、筍が床を抜いた。

「はや裏(つつむ)時雨の竹の小屋七畳」(昭和34『竹取』)1966年(昭和41)から「風土」恒例の竹の子句会を神蔵器(現・「風土」主宰)の生家で開催。桂郎は「私達の雑誌で(中略)催す竹の子句会は、仲間のK君の生家を会場に当て、500坪はあろう竹藪の筍を80名ちかい誌友が勝手に掘り、(中略)句会を楽しんだ、と記している。神蔵邸は現在も当時の趣を残している。

※ 「鶴川駅」2・4番のり場から鶴13、26番系統で「平和台入口」下車 徒歩約8分

A－4 正子の愛した武相荘(能ヶ谷町 1284)

随筆家・白洲正子(1910-1998)が住んだ能ヶ谷の家。約120年前に建てられた農家を改修した茅葺きの平屋で山を背にした静かな環境に竹林が覆っている。正子の夫は「吉田茂の懐刀」として知られる白洲次郎で、「武相荘」の名は、武蔵・相模の境に位置することと自身の「無愛想」をかけて次郎が命名した。戦時中、戦火を免れるために梅若家先祖伝来の能面・衣装を預かり、戦後は河上徹太郎夫妻も寄寓した。正子はくお能)に造詣が深く、能を基にした作品を多く執筆した。
※「鶴川駅」から2、4番のり場から鶴13、26番系統で「平和台入口」下車、徒歩約1分(入館料：1,000円)

A－6 古代の風薫る「香山園」(能ヶ谷 1022)

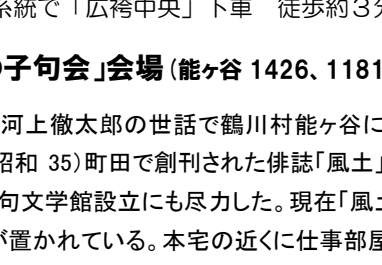
小田急線鶴川駅北側、目の前に見える高台に7世紀後半頃の横穴古墳群があった。1928年(昭和3)の東南麓の土砂崩れ及び1956年(昭和31)の道路拡張工事により横穴が発見された。現在は神蔵家が庭園美術館として庭園内を公開、出土品を随時展示している。白洲正子の「鶴川日記」には「今は藪の中になって、横穴の跡もさだかではないが、そのあたりを通るたびごとに、遠くかすかに防人の妻の悲しい歌声がひびいて来ると往時をしのぶ記述がある。
(入館料：1,000円)



「井上友一郎」



「広袴不動尊」



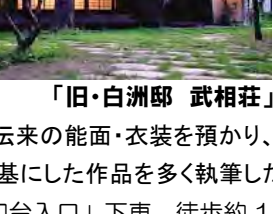
「七畳小屋の風景」



「旧・白洲邸 武相荘」



「香山園」



「香山園」

A－7 山の版画家 畦地梅太郎アトリエ(鶴川 1-13-12)

「山」を主題に刻みつづけた版画家、畦地梅太郎(1909-1999)は、1976年から亡くなるまでこのアトリエ兼自宅に住んだ。素朴でどこか懐かしい畦地版画、室生犀星の依頼で著作の表紙を手がけ、山の雑誌「アルプ」では、表紙画を描き、画文を連載してきた。晩年の代表作「石槌山」「みどりさわやか」(鶴川市民センター綴帳)などの版画はここで制作。生前、275点の自作版画を町田市に寄贈した。近年、旧アトリエはギャラリー「あとリエ・う」として生まれ変わった。

※「鶴川駅」2番のり場から鶴11系統で「鶴川第二小学校前」下車 約1分

A－8 女性運動家・神近市子旧宅跡(能ヶ谷町 87)

神近市子(1888-1981)は大正・昭和期の評論家、女性運動家、政治家。長崎の人。女子英学塾(現・津田塾大学)在学中に青鞥社に参加。大杉栄と恋愛関係におちいり、刃傷事件を起こす(日蔭茶屋事件)。のち文筆活動に入り、社会党代議士となる。1943年(昭和18)、鶴川村に疎開、1945年(昭和20)能ヶ谷の水車小屋で空襲に遭うまで2年間をこの地で過ごした。女性解放運動に尽くし、波乱に満ちた生涯は自伝『わが愛わが闘い』に詳しい。



「神近市子」

※「鶴川駅」より徒歩約5分

B－1 幕末を伝える小島家(小島資料館)(小野路町 950)

小島家は旧小野路宿で24代続く旧家。幕末には周辺35ヶ村を束ねる「寄場名主」を努め、新撰組の近藤勇、土方歳三らとの交流もあった。歴代の当主には文人も多く、膨大な和漢書のほか村方史料、新撰組関係文書、遺品なども保存されている。「どっしりした屋敷構えは、かつての堅実な暮らしぶりを物語る」(白洲正子「鶴川日記」)。屋敷内には「小島資料館」(見学は要予約)がある。

※「鶴川駅」5番のり場から 鶴32番系統で「中宿」下車 徒歩約3分

B－2 透谷・ミナ出会いの地ーぼたん園ー(野津田 2274-1)

「ぼたん園」の中に三多摩民権運動の指導者で野津田出身の石阪昌孝の屋敷跡がある。昌孝の長女ミナ(1865-1942)は、12歳で東京へ。「馬の背に乗せられ遊学にのぼる、けなげな姿をみて、村民は涙をそそられたという」(渡辺奨「北村美那子の生涯」)。ミナは民権運動に参加した北村透谷(1868-1894)と1885年にこの地で出会い、その時の様子を「透谷は庭に出て、柿の木に登った。私はそれをボンヤリ見上げていたが柿の実がまだ青かった」(『美那子覚書』)と記している。ミナはクリスチャンで、後に透谷も受洗、結婚した。透谷の死後ミナは渡米し、帰国後は師範学校で英語を教える傍ら牛込の自宅で「実用英学会」も開校、教え「透谷・ミナ出会いの碑」子に今井邦子神近市子らがいる。1918年(大正7)相原の詩人・八木重吉は小石川の自宅にミナを訪ねている
※「鶴川駅」0番のり場から町53系統で「薬師ヶ丘」下車 徒歩約7分

B－3 自由民権資料館(野津田町 897)

野津田は、自由民権運動の一大拠点であり、この資料館も多摩の民権家たちの錬成道場「凌霜館」(主宰者・村野常右衛門)の跡地に建てられている。明治時代前半から半ばにかけて「自由」「権利」「平等」を求めて奔走した常右衛門、石阪昌孝・公歴をはじめ、若き頃、民権運動に呼応して政治家を志した北村透谷等の貴重な資料を公開している。
※「鶴川駅」0番のり場から町53、鶴33系統で「袋橋」下車 徒歩約1分

B－4 在野歌人夢を描いた「寒竹学苑」跡(大蔵 1777)

神戸照子(1915-2005)が内村鑑三の影響をうけ、自力で創設した十字架のある学苑の跡。村の人たちも協力し、聖書講読会生け花教室・親と子の教室などが開かれた。「村では、学苑にいけばよい子になるんだと言われるようになった。」「(「残された奥さん」)戦争で夫を亡くした神戸は1944年(昭和19)に都内から疎開、32年間住み、教育委員も務めた。「裏山の芽ぶきあかるき中にいて還り来ませぬ夫をおもへり」(1948 歌会始入選歌)
※「鶴川駅」0・1番のり場から鶴21・33系統で「鶴川市民センター前」下車 徒歩約5分

B－5 閨秀歌人・今井邦子の旧宅跡／慶性寺(大蔵 2177)

今井邦子(1890-1948)は大正・昭和期に活躍したアララギ派の女流歌人。信州下諏訪の出身。1944年(昭和19)10月、戦争激化のなか鶴川村の慶性寺に疎開し、その不動産堂に住みほぼ1年を過ごした。新聞記者をしていた頃石阪ミナに英語を教わっており、神近市子から唯物論の講義を受けたこともある。また、神戸照子の短歌の師でもあり、鶴川で詠んだ歌に「月更けてわが寝る堂のすき間より心かなしくさし入りて居り」がある。
※「鶴川駅」0番のり場から鶴33系統で「金井入口」下車 徒歩約3分

B－6 文人たちも利用した鶴川駅

1927年(昭和2)に開業した小田急線の駅。敗戦の年(1945)には、駅員がひとりで切り盛りをする小さな駅であったが、鶴川の人びとにとっては、東京への重要な路線であった。作家の井上友一郎やGHQとの交渉役だった白洲次郎、俳人・石川桂郎らが、この駅を利用し東京へ向かった。戦後しばらくすると、都心に近いことから丘陵に団地がつくられ、東京のベッドタウンとして変貌を遂げている。
※「小田急線」町田駅より新宿方面へ各駅停車で約6分

C－1 桂郎の句碑が立つ妙福寺(三輪町 811)

身延山久遠寺を総本山とする日蓮宗の寺。1391年(明徳2)日徳上人により開山、祖師堂は東京都指定文化財、本堂・山門・鐘楼門は町田市有形文化財に指定されている。参道脇に石川桂郎没後「風土」俳句会同人の発案で建立された句碑「たかんなやけふを明日へと数へをり 桂郎」(平成3年11月吉日 風土俳句会建之)がある。
※「鶴川駅」4番のり場から鶴01番系統で「妙福寺前」下車 徒歩約3分

C－2 文人らが愛でた楢山神社(三輪町 1618)

奈良時代、大和からこの地に移り住んだ人たちが故郷を偲んで建てた社。主祭神も大和・三輪神社と同じ大物主命。近くの熊野神社も同じ頃、大和からの勧請と伝わる。「千数百年の昔、大物主を奉じてはるばる大和からこの肥沃な平地に住みついたに違いない。」(白洲正子「鶴川日記」)。柳田国男の「炭焼日記」にも「三輪町遊ぶ。熊野社と杉山社に詣づ」(昭和19年3月9日)との記録がある。
※「鶴川駅」4番のり場から鶴01系統で「三輪」下車徒歩約5分

C－3 白秋が詠んだ「高蔵寺」(三輪町 1739)

北原白秋(1885-1942)が1935年秋、柿生から王禅寺を訪ねる途中に道に迷って立ち寄った三輪の秋を短歌に詠んでいる。「高蔵寺しづかやと散葉眺めて梢の柿のつやつやしいろ」(「高蔵寺をたづねて」)このとき町田を詠んだ七首が、第10歌集「椽(つるばみ)」に収載された。高蔵寺は真言宗豊山派の古刹。「石楠花(しゃくなげ)の寺」で知られる。
※「鶴川駅」4番のり場から鶴01番系統で「上三輪クラブ前」下車 徒歩約4分

○「狐館」と名づけた野田宇太郎の旧宅(園師町 2228-8)

「文学散歩」の評論家、野田宇太郎(1909-1984)が1973年から10年間住んでいた旧居。「坂を上り詰めた奥の疎林の下影に一軒離れて寂しい寓居がある。2階座敷の窓から相模の大山や丹沢連山が一」(1975.1「広報まちだ」)。『新東京文学散歩』や『日本耽美派文学の誕生』などはこの書齋で執筆。「町田ペンの会」初代会長。立川に転居後も八幡城太郎らと交流、墓地は青柳寺にある。
※「町田駅」12番のり場から町36系統で「日影橋」下車 徒歩約3分



「今井邦子」



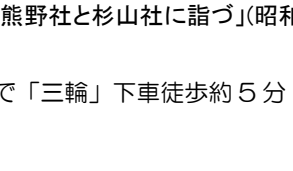
「昭和20年頃の鶴川駅」



「妙福寺」



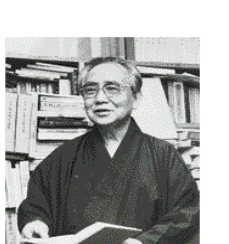
「楢山神社」



「高蔵寺」



「高蔵寺」



「野田宇太郎」

第2回 鶴川駅前公共施設市民ワークショップ

なんでもアンケートのまとめ

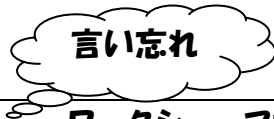
感想

※MC=町田市／図書館=図書館／TW=シアターワークショップ

| ワークショップ委員さんより | 事務局・シアターワークショップより |
|---|---|
| <p>まとめ発表は、グループによって観点が異なっていたり、同じ提案があったりして興味深く聞きました。</p> | <p>今日出来たばかりのグループなのに、個性があって面白かったですよね。同じアイデアでも、チームの中で追加の提案をして膨らませていくと、ちょっとずつ違う個性的なアイデアになります。是非、次回挑戦してみましよう！（TW）</p> |
| <p>あまり意識することなく図書館を利用しておりましたが、今回貴重なお話を伺えました。</p> | <p>ありがとうございます。こういう機会に図書館の裏側などにも、関心を持っていただければ幸いです。図書館は、利用して下さる市民の皆様によって育てられる面が大きいと考えています。（図書館）</p> |
| <p>①A、Bの分け方に無理がある。A「鑑賞事業」はプロの演奏を鑑賞する受身の形だが、プロにアマが関わって行う形態も非常に多い。市民参加の演奏、パフォーマンスも含めてほしかった。 ②テーマの場所分けが細かすぎる。「場所があるならやる」のではなく、「これをやりたいからこのような場所を使う」というのが本筋と思う。</p> | <p>①この分類は公立文化施設協会など多くの公的機関が行っている方法です。プロにアマが関わって行う形態の事業は、鑑賞を目的とするものではありませんので、「普及・育成・教育事業」あるいは「創造事業」に該当します。また、ご指摘のように「プロの公演会の中で市民との合同演奏を行う」というご提案は、鑑賞事業でもあり、普及・育成事業でもありますから、一石二鳥の企画になりますね！資料中にあまりたくさん事例をご紹介してしまうと、皆さんのご提案の妨げになってしまいますので、出来るだけ少なめにしておきます。思いついたアイデアはどしどし書いていただけると、とてもうれしいです！（TW） ②コミュニティ機能の部分にはたくさんの部屋が用意されており、それぞれに異なる機能を持っています。それらの部屋の使い方についてもご提案いただきたくて、部屋名を挙げさせていただきました。当然、使い方を想定して設計されていますが、もう一度皆さんに使い方のご要望をお伺いしました。もしかすると想定外のユニークなアイデアが出てくる可能性もありますからね。（TW）</p> |
| <p>やりたいイベントを書いて発表していくことによって、施設の可能性と楽しみが見えてきた感じがする。皆から親しまれる、誇れる施設にしていきたいですね。</p> | <p>実際に施設が使われている様子を想像すると、どんなふうに行われているのか、人が動き回っているのか、図面でみるよりも立体的に見えてきて、ワクワクしてきますよね！それが現実になるように頑張っていきましょう！（TW）</p> |
| <p>子どもの遊び場的、体力増強のためのスペースが欲しかった。</p> | <p>1階のプレイルーム、3階のエクササイズルームの活用が検討可能です。（MC）</p> |
| <p>管理の方法は色々なやり方があるものだと思います。</p> | <p>そうですね。図書館もホールも、お客さんには見えない、いろんな仕事があります。運営方法にも直営か指定管理者か…といった運営組織の問題もあります。これからミニレクチャーの中でも少しずつお話できたらと思います。（TW）</p> |

| ワークショップ委員さんより | 事務局・シアターワークショップより |
|--|---|
| <p>まとめ方が4月から3月まで細かく分かれていたのでむずかしかったです。やりたい事、企画はたくさんあっても、なかなか月や場所まで考えると時間不足でした。でももみじグループはよくまとまっていたでしょ!!みんな多く意見がでて、本当に楽しみなんだな～と実感できました。わたしも楽しみです。</p> | <p>もみじグループ、盛り上がっていましたね。人数もちょうど良かったのでしょうか。1年にはとても収まりきらないほどの数でしたが、時間をかけて少しずつやれそうなアイデアが沢山ありましたね。発表もお上手でした!(TW)</p> |
| <p>事業の区分けは月ごとではなく対象者別の方がやりやすかったかもしれません。芸術監督というのは、リーダーシップを取ってくださることであれば、いたらいいなと思います。</p> | <p>それはいいアイデアですね。次回以降のどこかで是非使わせてください!事業だけではなく、誰にとって使いやすい施設かを考えると、施設全体が見えてきますよね。施設のリーダーシップを取る人は、必ずしも芸術監督である必要はないのかもしれませんが。複合施設のよさを生かせる方法がきっとあると思います。(TW)</p> |
| <p>現役で働いている世代の意見が反映されていないような気がしてなりません。この施設が全ての市民(特に鶴川住民)に受け入れられるようにするため(=税金のムダ遣いと言われないうようにするため)には、様々な人が利用できる施設であるべきだと思うのですが、何かいい案はないのでしょうか。</p> | <p>私たち自身、現役でこうして働いていますが、地元の公共施設をどれだけ利用しているかという、ウィークデーにはほとんど利用できないのが正直なところです。でも、時間が空いた時にはいつでもふらっと行けるような場所だったらいいですね。それに、駅を利用する方にとっては、非常に良い場所にありますので、駅前の立地を活かせるような仕掛けを考えたいですね。(TW)</p> |
| <p>今日施設の模型をみて、何ともミニコンストラクションだなとの印象を受けました。運用管理のWSではハードが全て決まった後の話し合いですから、ここに至ったコンセプトを最初に聞かせてもらわないと、作業になじめない気がします。所与の要件は是として進めねばならない。</p> | <p>第1回目のWSにおける説明の内容が不十分だったと理解しました。早口の説明だったこともあり、わかりづらかったかもしれません。説明時に使用したパワーポイントのプリントアウトを配布いたします。(MC)</p> <p>計画当初からの経緯は前回のワークショップでもご説明申し上げた通りで、市のHPでも様々な資料が提供されていますので、ご活用ください。また、模型でもご説明しましたが、ホールが地下部分に埋められており、近隣住民への配慮から、高さを抑えるという意図で設計されており、設計者選定時にもその点が高く評価されて選ばれました。(TW)</p> |
| <p>今回発表は始めてで緊張してしまい、班で出た意見をきちんとみなさんに伝えきれなかったと思います。模造紙で読み取っていただければ幸いです。</p> | <p>今回初めての方をご紹介しないまま進行してしまってすみません!今後、グループ内で自己紹介の時間を設けたいと思います。</p> <p>グループの中でよい議論ができたみたいで、よかったです!模造紙いっぱいふせんから、しっかり読み取っていきたいと思います。(TW)</p> |
| <p>イベントを色々考えるのは楽しかったです。皆さんのアイデアになるほどと思うこともありました。施設もこのように市民がいきいきと参加できる場となればと思いました。</p> | <p>素敵なお意見ありがとうございます。ほかの方の意見を聞いて、なるほど!と思えるのって、楽しいですよ。みなさんのいきいきした検討の結果が、いきいきした施設運営につながるよう、私たちががんばりたいと思います。(TW)</p> |

| ワークショップ委員さんより | 事務局・シアターワークショップより |
|--|--|
| <p>基本的にイベントを考えるのは私たちのすることではないのでは？それ以前に考えなければならないことがあるのでは？図書館も運営について考える前にやはりやる事があるのでは？もっと館内の配置について話し合うのだと思っていました。</p> | <p>今回の主旨はイベントを考えることを通して、施設全体がどのように使われるかをイメージすることで、イベントの企画を考えることそのものが目的ではありません。使われ方が分かれば、それに適した組織も規則も見えてきますし、収支のそろばんもはじけます。そんな訳で、管理運営計画をまとめる第一歩として年間の使われ方を考えていただきました。既に建物の設計は完了しており、部屋の大きさや配置などは決定していますが、家具や備品などの配置はこれからの検討となります。それらの配置を考えると、どんなふうにするかが明らかにならなければ、適切な配置はできません。やはり、どう使うのかを考えることがまずは必要だと思いますが、いかがでしょうか？(TW)</p> |



| ワークショップ委員さんより | 事務局・シアターワークショップより |
|--|--|
| <p>イベントをどの程度入れるかによって、市民団体などが予約で使える割合が決まってくるので、あまり目一杯予定を入れるのもどうか。</p> | <p>予約したい日が館の自主事業や行政行事で抑えられてしまっていて使えない…というのは、よく話題に上がりますね。土日は●回まで、とかイベントで混みあう 10 月～11 月は●回まで、といったルールを行政や管理者に設けてもらえるとういのもかもしれませんね。(TW)</p> |
| <p>主義者の組織的妨害がある。</p> | <p>発言の趣旨を理解いたしかねますが、本ワークショップは、施設の管理運営について市民の皆さんの要望を可能な限り反映させることを目的としています。回数も時間も限られた中で、ご無理をお願いしておりますが、ご出席の皆さん全員に平等に質問・発言の機会を持っていただければと思っております。主旨をご理解いただき、本ワークショップの運営にご協力いただければ幸いです。(TW)</p> |
| <p>麻生区岡上の方も多いので、この施設が、東京都と神奈川県を越えて、鶴川の施設を利用できるようにしてあげてほしいです。</p> | <p>川崎市の方も利用できる方向で調整が進んでいます。(MC)</p> |
| <p>地元の芸術家の卵たちの活躍の場にしたい。</p> | <p>素晴らしいアイデアだと思います。残りの WS の中で、是非考えていきたいですね！(TW)</p> |
| <p>市民の多様な学習要求に応える小グループの学習会の場や、講座の開設。これを大学や学校、地域団体との協力関係をもとに運営できたらいいのですが。</p> | <p>その場合には、事務局になるところが重要なキーになってきますよね。市民と講座とこの施設をつなぐ人が誰なのか。これは、講座だけではなく、それぞれの機能がこれから考えていかなければいけない、たいせつな問題ですね。(TW)</p> |

| ワークショップ委員さんより | 事務局・シアターワークショップより |
|---|--|
| <p>この施設の運用の基本は、市の施設の運用よりか、住民の自主的事業運用主体で当初から構想があるのか、貸文化教室の運用はできるのか、ホールが300席なのは、催しも地域文化レベルに限られる気がする。入場料収入で運営管理は難しい。</p> | <p>施設の利用料金は今後検討しますが、町田市内の公共施設では、施設の性格によって定められた受益者負担率をカバーする料金設定となっています。とはいえ、利用料金だけで施設の維持管理は不可能です。また、一般的には、運営主体の自主文化事業は別会計で、文化事業収入が施設の管理運営に充てられることはありません。市からの委託費や補助金なども施設の管理運営、文化事業運営それぞれ別科目で拠出されます。催しは地域文化レベルでよしとするか、それとももっと高いレベルのものを求めるのか、是非ご提案ください！（TW）</p> |
| <p>ホール、コミュニティ、図書館での共通イベントについて。毎月又は2ヶ月に1回又は3ヶ月に1回、テーマを決めて一斉に取り組む。 例えば「COP10 生き物多様性について」 ホール：環境シンポ。町田の取組み、団体紹介等。 コミュニティ：環境絵画の展示等。 図書館：特設資料コーナー。</p> | <p>ひとつのテーマに定期的に取り組むというのは、とても良いアイデアですね。各機能のよさを活かしながら、それぞれに違ったアプローチが出来そうです。しかも、テーマもネタが沢山ありそうですね！（TW）</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・喫茶などはどこが運営するんですか？ ・エクササイズルームには何か道具が置いてあるんですか？ ・防災倉庫にはどのようなものを基本的に入れるのですか？ | <p>管理運営計画を策定した後、来年度にカフェのテナントを募集する予定です。エクササイズルームを含めて、備品の検討はこれからです。防災倉庫については水や燃料のほかに震災時の帰宅困難者対策や風水害時の一時避難者対策として食料や毛布、マットやシートが検討されています。（MC） 喫茶の運営は未定です。どのようにしたら良いとお考えでしょうか、ご意見をお聞かせください。また、エクササイズルームにはどのような道具があると良いとお考えでしょうか？（TW）</p> |
| <p>外からゲストや講師を呼ぶ派手なイベントもちろんよいのですが、市民が先生になれるような、互いに世代や立場を越えて学びあえるような小規模なイベントを地道に行っていれば、地域のコミュニケーションが活性化し、新しいものが生れるのではと思います。</p> | <p>「シブヤ大学」をご存知ですか？ 渋谷区を拠点に、区民や在勤者のみならず、広く渋谷に集まる人々を対象に、多様な講座を開催している、学校のように学校ではない、不思議な「大学」です。講師は依頼した方から、立候補してくれた区民の方まで、これも多種多様です。まだ若い「学長さん」が全国からくる「シブヤ大学のようなことをしたい！」という要望にお応えして、立ち上げのお手伝いもされています、お近くだと、「東京にしがわ大学」があるようです。このシステムのよさは「がんばれば、自分たちでもできるかもしれない」と思わせてくれることかもしれません！（TW）</p> |

なんでも

| ワークショップ委員さんより | 事務局・シアターワークショップより |
|--|---|
| それぞれの部屋やコーナーの広さを、例えば椅子をどれ位入れられるかとか、鶴川市民センターのどの部屋と同じくらいかで示してほしい。 | 参考となる資料をご提示してみたいと思います。(MC) |
| 女性の方のしゃべりが速すぎて聞き取りに苦労した。話し方に工夫してほしい。 | そうでしたか、たいへん失礼いたしました。丁寧にゆっくりしゃべり過ぎると、馬鹿にされているように感じる方がおられたので、もうちょっと早く話すように指導しておりました。今後も、進行の手伝いだけではなく、スタッフにもどんどん活躍してもらおうと思っています。ご迷惑をおかけするかもしれませんが、よろしくおねがいします。(TW) |
| はじめてでとにかくまとまりませんでした。これから楽しみに出席したいと思います。 | 私たちはいろいろなところで市民ワークショップのお手伝いをしていますが、皆さん回数を追うごとに、まとめと発表が上手になられていますよ！皆さんに楽しんで参加していただけるように、内容も工夫していきたいと思っています！（TW） |
| 施設の正式名称と愛称を早めに決めてほしい。 | 今年度、管理運営計画を策定した後、来年度に募集する予定です。(MC) |
| 発言に対して係員が発言を止める例があった。なぜか？ | 第1回目のワークショップの際に注意事項をお配りしていますが、「意見はふせんに書き込む」ことをお願いしています。また、ワークショップのルールとして「話は簡潔にまとめる、大演説や大声はイエローカード」と書かせていただいています。皆さんの貴重な時間ですので、質問・発言は出席の皆さんへの配慮をお願いします。また、計画の前提条件をご理解いただけるよう、資料提供とご説明を1回目のワークショップでも行っています。計画の進行上、お応えできることとできないことがある点、ご理解いただければと思います。全体会でお話された内容と、個別にお話された内容につきましては、回答者は違いましたが、回答内容は全く同じだったことも、皆さんに知っていただきたいので、こちらにも書かせていただきました。個別のご質問はこのアンケートに書いていただければ、出席されているみなさんと共有することができますので、是非ご活用ください。(TW) |
| <ul style="list-style-type: none"> ・図書館長様の話はとてもわかりやすかったです。 ・図書館も見えないところで本当に大変な作業が行われているんですね。しらなかったです。すみません。 ・私も是非出来上がったら働きたいです(ボランティアでもOK)。近いので朝早くてもできます。 | <p>ありがとうございます。ただ本が並んでいるだけでは、図書館ではありません。来館された方々に掛け替えのない本と出会っていただいたり、役立つ情報を持って帰っていただくためには、サービスを支えるバックの仕事がとても大切です。中央図書館で時々実施している“バックヤードツアー”などにも、ぜひ一度参加されてはいかがでしょうか。お待ちしております。(図書館)</p> <p>すばらしいご提案ありがとうございます！「この施設で何かをしたい！」というご提案、今後お待ちしております！（TW）</p> |

| ワークショップ委員さんより | 事務局・シアターワークショップより |
|--|--|
| <p>図書館が 24 時間開くとすると、入館方法はどのようになるのだろう。電子本などが出回っていたら、図書館はどのような立場になるのだろう。</p> | <p>図書館を 24 時間開館するためには、専用の機械を導入して、利用者自身が自分で貸出手続き等をする方法が考えられます。ごくわずかですが、地方の小規模な図書館で、蔵書の一部を区切って 24 時間対応しているという例は実際にあります。ただし、費用対効果や世界的な省エネルギーの趨勢等を考えると、24 時間の開館が本当に必要かどうか、しっかりと議論する必要があると思います。</p> <p>電子本の出現は、確かに図書館のあり方を大きく変える可能性があります。では、すぐに紙の本がなくなってしまうかという、それはちょっと考えにくいところです。というのは、技術面とは別に、著作権などソフト面での課題があるからです。したがって当面は、大量の紙の本と限られた電子本を、必要に応じて両方提供するのが図書館、ということになると思います。(図書館)</p> |
| <p>何故、鶴川のあの土地区画に、何の目的で、誰のために税金を使って公共施設を建てたのか、アイデアやコンセプトが随分議論されてきたものと思います。ハードにのるソフトも基本計画の中にあるはずで、このコンセプトを明示して作業を進めていただくことを望みます。老若男女、幼児、主婦、就業者、学生、全てが使える多目的複合ミニ井の施設に見えて、帯に短し、タスキに長しの感じがします。所与の要件を明示して運用をWSすべきでしょう。</p> | <p>この施設のアウトラインが形づくられるまで20回の市民ワークショップと設計者のプロポーザル選定プロセスを経ていきます。どのエリアがどのような使われ方をされるのか参考となる図面を配布いたします。(MC)</p> <p>2009年2月にまとめられた「鶴川駅前公共施設基本計画」では、施設整備の目的として『本事業は、鶴川駅前地区の活性化に寄与する公共施設を建設するものであり、多様な人々の交流活動を通して「芸術文化の創造活動を促進する交流拠点」となり、地域の新たな魅力とイメージを形成し、地域のまちづくりを先導する。また、市民はもとより市外の人々も惹きつけ、まちの誇りとなるシンボリックな施設となることを目的とする。』とされています。また、施設整備の基本方針として次の4つの項目が挙げられています。□次世代へ継承する地域文化の創造拠点 □多様な人々の出会いと交流・活動の場 □豊かで快適な暮らしをサポートするまちのコンシェルジュ □地域まちづくりを先導する地域の顔となり市民が誇れる施設さて、これらの目的や基本方針を受けて、どんな運営を考えますか？ 次回も素敵なアイデアをお願いいたします。(TW)</p> |
| <p>検討会議での決定が正式なものになるのでしょうか？ 私達のワークショップと検討会の役割分担はどのようなものでしょうか？</p> | <p>検討会議では主に学識経験者と団体代表の意見を聞き取ることになります。特別に「正式な決定」を出す方式は採りません。当WSは自由な立場で個人の意見を是非おうかがいしたいと考えています。(MC)</p> |
| <p>発表時間はもう少しほしかったです。グループ討論のところも録音するなどで、付箋に書かれた意味の真意を把握してほしいです。</p> | <p>まだ集まり始めて2回目の会議ですし、施設の全体像が見えてくると、どんどん良いアイデアが出てくるのではないのでしょうか。私たちも、ふせんから皆さんのご意見を読み取れるようがんばりますので、1回目の資料の「ワークショップのルール」でもお願いしていますように、思いついたことはなんでも、ふせんに書いていただけたらと思います。(TW)</p> |

| ワークショップ委員さんより | 事務局・シアターワークショップより |
|---|--|
| <p>私はアップデートシステムを備えた施設で働いていた経験があるのですが、施設の中で人の手で変えられるところ、情報やメッセージを簡単に発信できるスペースなどが少しでもあると、参加型の場となり、関わる人のモチベーションが全く変わると思います。この施設にもどこかそのような場所があるとよいのですが。</p> | <p>興味深いご提案をありがとうございます！ 具体的にどのようなスペースで、どのようなことをやるのかを教えてください。本施設が目指しているのは「多様な人々の出会いと交流・活動の場」ですから、その方針ともぴったりでですね！（TW）</p> |

などなど…
今後もみなさんの声、おまちしています！

第2回 ワークショップの風景

